

2012年度商社リーグ 第二回代表者会議 議事録

日時	10月22日(月) 20:00~22:00
会場	伊藤忠商事(株)東京本社(2012年度主幹事)10階 1001会議室
出席チーム	下記参照
欠席チーム	なし
議事録	住金物産/田邊

議題	内容
議事	<p>※以下敬称略</p> <p>I. 金田会長コメント II. 提出物状況確認 III. Buzz Session IV. 今後のスケジュールについて</p>
I. 金田会長コメント	<p>① 第二回幹事会議の振り返り ・三井物産審判問題の議論で大幅な時間のロスがあった。 ・問題を無くすことで、質の高い議論を行うべき。(PDCAを回す) ・改革をするきっかけは2つ…①内部環境②外部環境が変化したタイミングである。</p> <p>② Operationの問題(審判・不可日・提出物) →3つのPで解決する ・Punctual(期日どおりに物事を行う) ← 【経営者の視点】 Assumption(前提)の一つ ・Professional(プロ意識を追求) 商社マンの「Quality」が3つのPを可能にする ・Passion(情熱を持つ)</p>
II. 提出物状況確認	<p>① チームデータ提出(大倉/上田) 報告 双日以外は期日どおりに提出があった。 問題点 期初:期日遅れ、チェックリストの不活用(蝶理:ホイッスル、カードの不所持/兼松:昨年度順位の間違い、等) 期中:期日遅れで追加申請のネゴがあった(住商)が、部員の追加登録は認められず →運営と経営の両軸を持っていれば、ネゴはしてこないはず。 その他 チーム写真が古いことなど、どこまでチェックするのかが不明確。 大倉は次回までにリストの評価点数を訂正する。(7月時点のものから最新版へ)</p> <p>② メーリングリスト(住金/遠西) 報告 双日、大倉以外は期日通りに提出があった。 問題点 特になし。登録に時間がかかるため、期初に全チームが期日どおりに提出することが必要。</p> <p>③ MC報告(蝶理/小池) 報告 岩谷、豊通以外の全チームで報告内容に不備があった。 問題点 期日遅れ、記載内容の漏れ、名前の漢字記載ミス、得点者の記載ミス(背番号ではなく、登録NOが必要) その他 MC報告の提出が遅れ、担当者が午後全く仕事が出来ないという事態が起こった。</p> <p>④ 不可日申請(伊藤忠/宮内) 報告 数社期日遅れ有り、不可日が非常に多いチームがある。 問題点 不可日が多いと試合日程が組みづらく、試合消化数に差が出る。不可日の定義が不明確。 その他 チームとしてではなく個人で都リーグに参加し、不可日としていた(岩谷)→以前から行っていた。認識を改める。 運営要綱:「不可日の理由として認められるのは都リーグと社内行事(総会、部員冠婚葬祭など)のみとする。 これ以外の理由にて不可日を提出する際には、役員会の事前承認を必要とする。」 ※役員会にて「など」は削除する</p> <p>⇒(金田会長より)各チームの代表者は、①参加者側のメリット追求と②経営者側の公平な運営要求という「Conflict of interest」(利害の対立)が存在する中で、如何に行動するべきかを常に深く考える必要がある。これは、商社マンというQualityがあるからこそできるレベルの高いリクエストである。</p>
III. Buzz Session	<p>① Buzz Sessionとは【一つのテーマを基に、小グループに分かれて、役割を持って議論し、まとめて他のグループに発表する】 役割 書記、ファシリテータ、発表者 目的 全員が、経営と運営の視点を持って議論する</p> <p>② 実践1:テーマ「不可日申請について」 (JFE/竹中) 問題点 不可日の大半は都リーグとの兼ね合い。 解決策 都リーグのスケジュール決定後、不可日申請を行う。 ⇒グラウンド確保の問題はクリアできないので実現不可</p> <p>(大倉/上田) 問題点 申請内容にどこまで信憑性があるか。 解決策 冠婚葬祭の該当者、社内行事の詳細を明示する。</p> <p>(丸紅/田添) 問題点 「都リーグ」への理解不足。 解決策 都リーグのシステムについて、見える化を図る。</p> <p>(阪和/酒井) 問題点 都リーグは日程決定が直前である。 解決策 都リーグに合わせて、不可日申請の期間を短くする。 ⇒不可日申請の前倒しを議論している現状に逆行している</p> <p>(日本ユニシス/嘉陽) 問題点 申請内容にどこまで信憑性があるか。 解決策 社内行事、冠婚葬祭に本当に全員参加しているのか。Evidenceの提示。</p> <p>(三井/勝岡) 問題点 都リーグとの兼ね合い。 解決策 不可日の存在意義を確認し、感謝する姿勢を忘れない。 モラルを保ち、見える化を図ることが大切。</p> <p>③ 実践2:テーマ「MC報告書について」 ※全チームが共通して、「イメージミスが多すぎることを」問題点とした。 (双日/中村) 解決策 チェックの網を増やす。締め切りを延ばす。ダブルチェック。報告書記載内容を見直し、無駄を省く。(双日が次回発表)</p> <p>(蝶理/小池) 解決策 試合間隔を空け、会場でチェックリストを完了させる。マニュアルのチェック項目を改善する。</p> <p>(兼松/北見) 解決策 登録NO等、間違いやすい箇所をハイライトにすることで、ミスを無くす。</p> <p>(三菱/阿部) 解決策 マニュアルと報告書で指示が異なる部分を修正。集計担当をもう一社増やす。</p> <p>(伊藤忠/相川) 解決策 クモの巣グラフの利用。罰金制にすることで抑止力をつける。</p>
IV. 今後のスケジュール	<p>・第四回代表者会議の日程変更: 12/10(月) → 12/3(月) ・11/2(金)の不可日申請で、1月分までを行う。 ・市原グラウンド取得に関しての取組発表(住金物産が次回発表)</p>